

ワークショップ



本日のワークショップのテーマ

変革を進める上で必要な

論点思考

を鍛えよう

今日我々の直面する重要な問題は、
その問題をつくったときと同じ
考えのレベルでは解決することは
できない。

- アインシュタイン

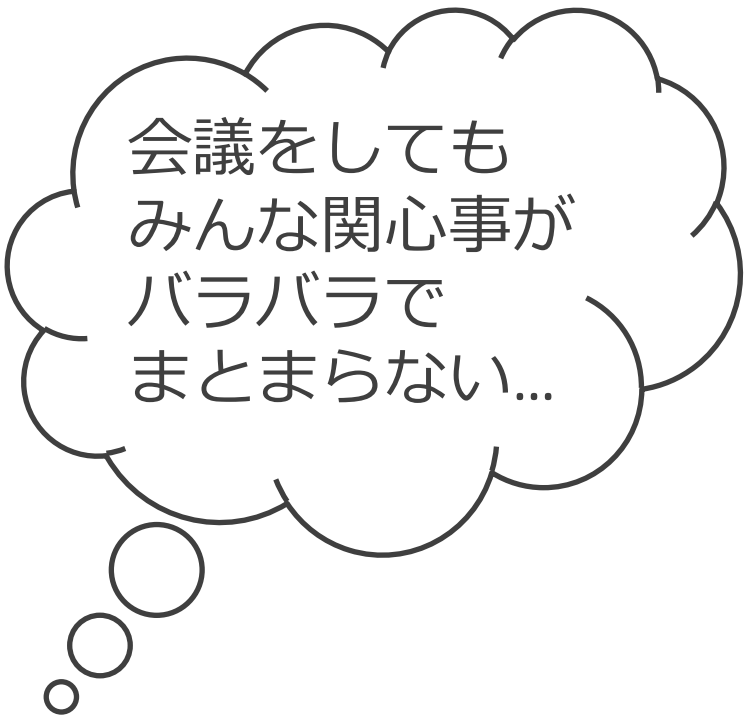


論点思考とは

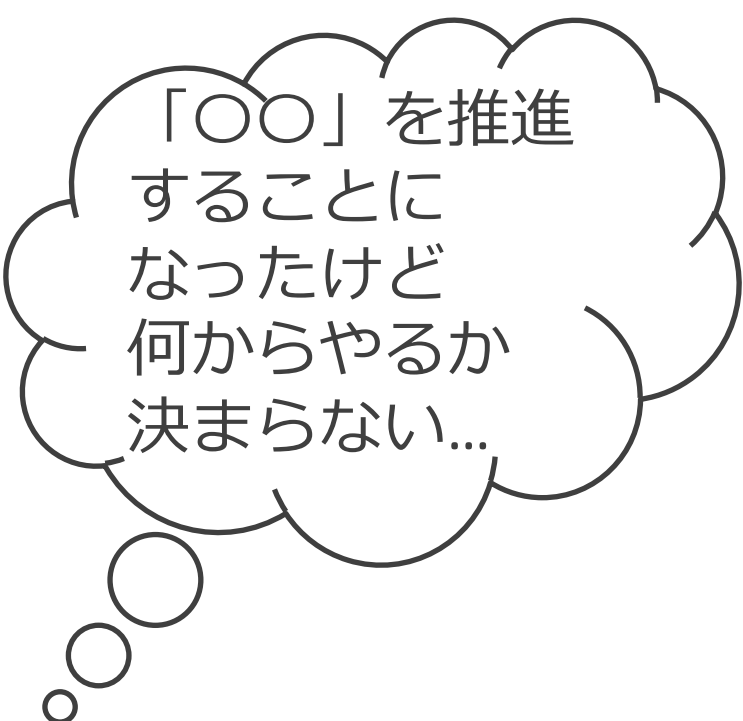
論点…解くべき課題

論点思考…解くべき課題を定義する
思考プロセス

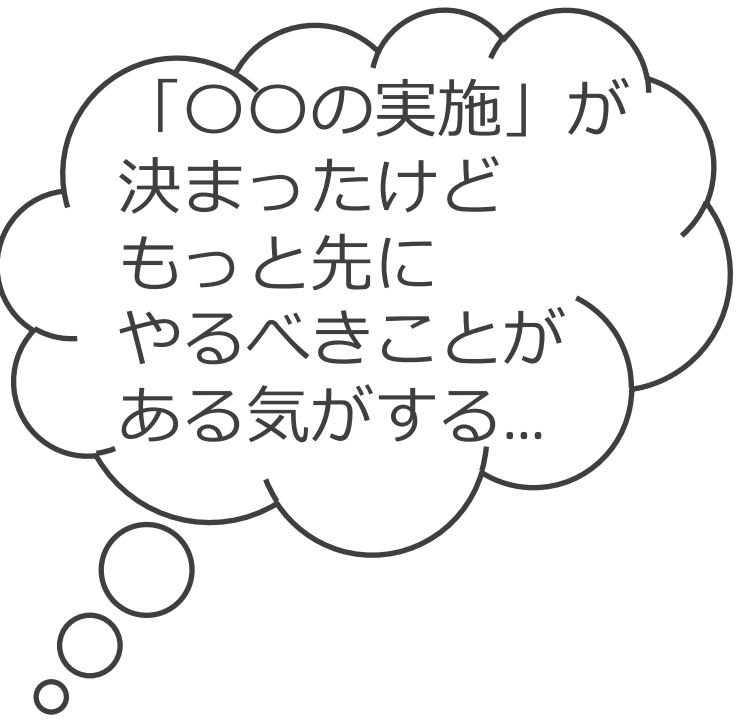
こんな場面、ありませんでしたか？



会議をしても
みんな関心事が
バラバラで
まとまらない...



「〇〇」を推進
することにな
ったけど
何からやるか
決まらない...



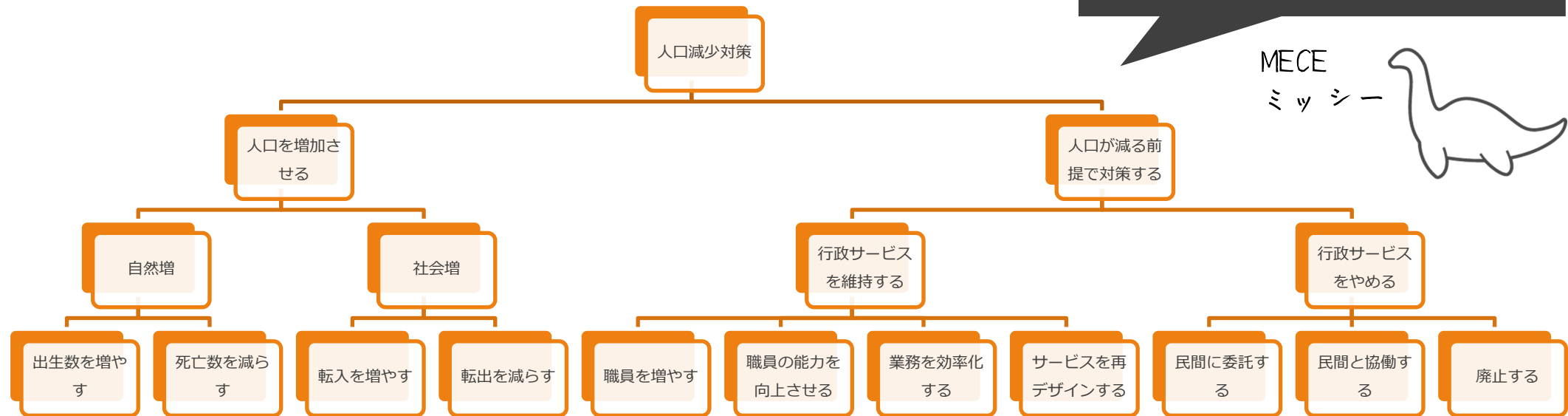
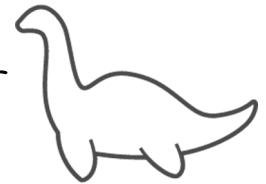
「〇〇の実施」が
決まったけど
もっと先に
やるべきことが
ある気がする...

→「論点思考」を取り入れることで進めやすくなる可能性があります

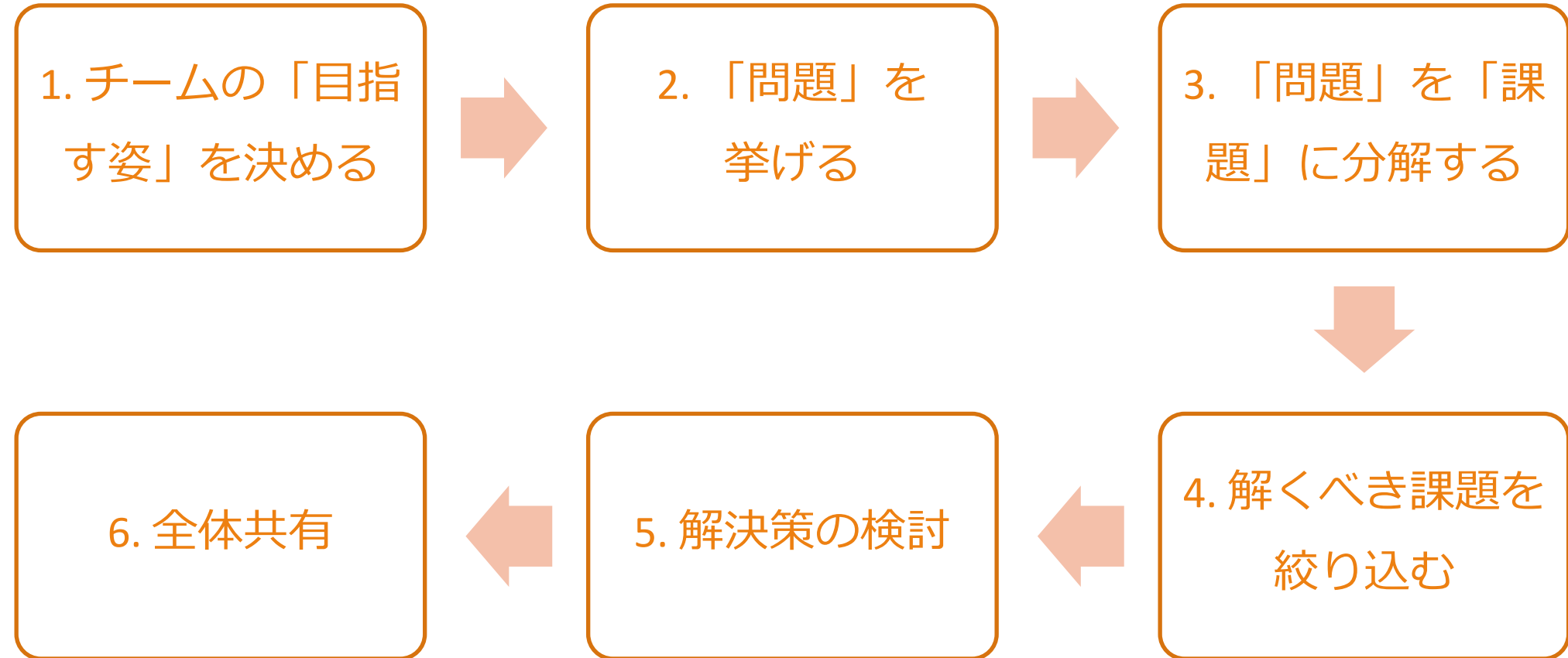
論点での整理の例

課題をMECEに（抜けなく、漏れなく、ダブリなく）
検討する

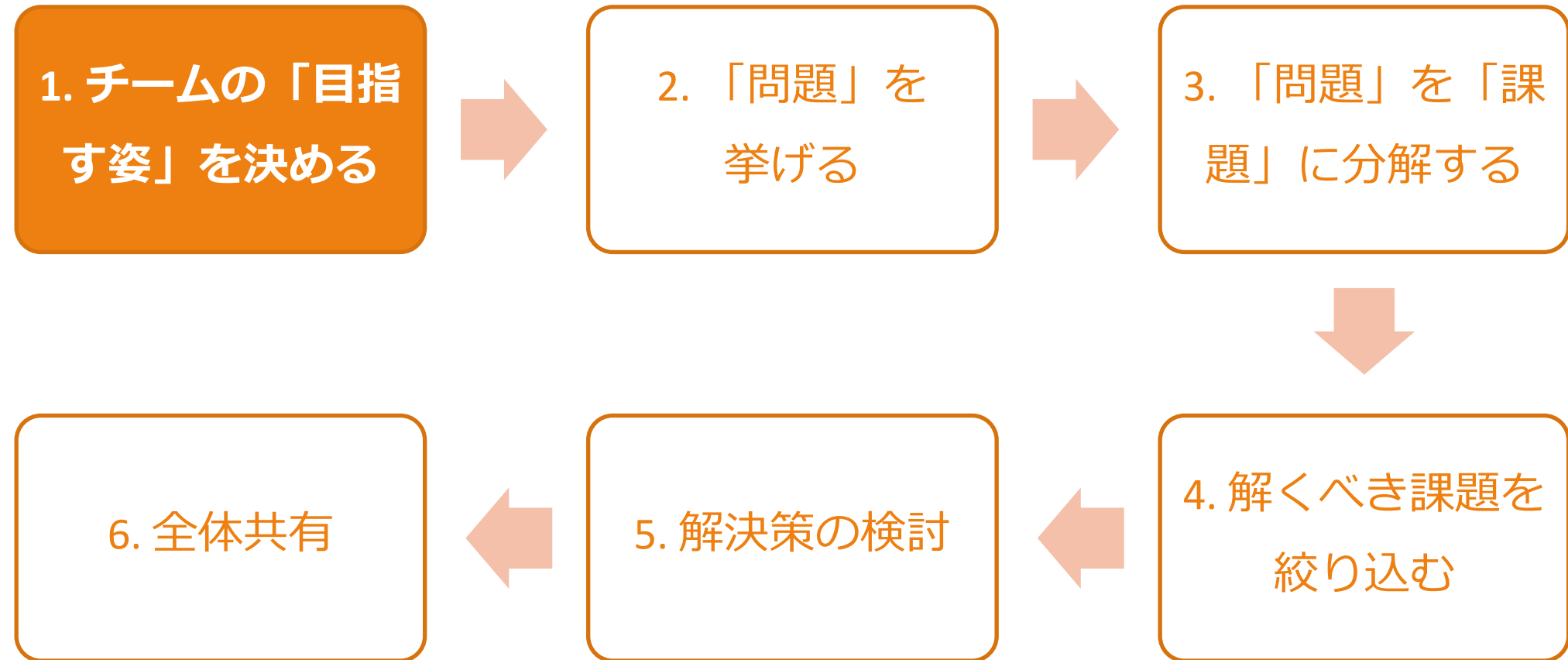
MECE
ミッシェー



和歌山県・市町村連携で「論点思考」を鍛えるワークショップ

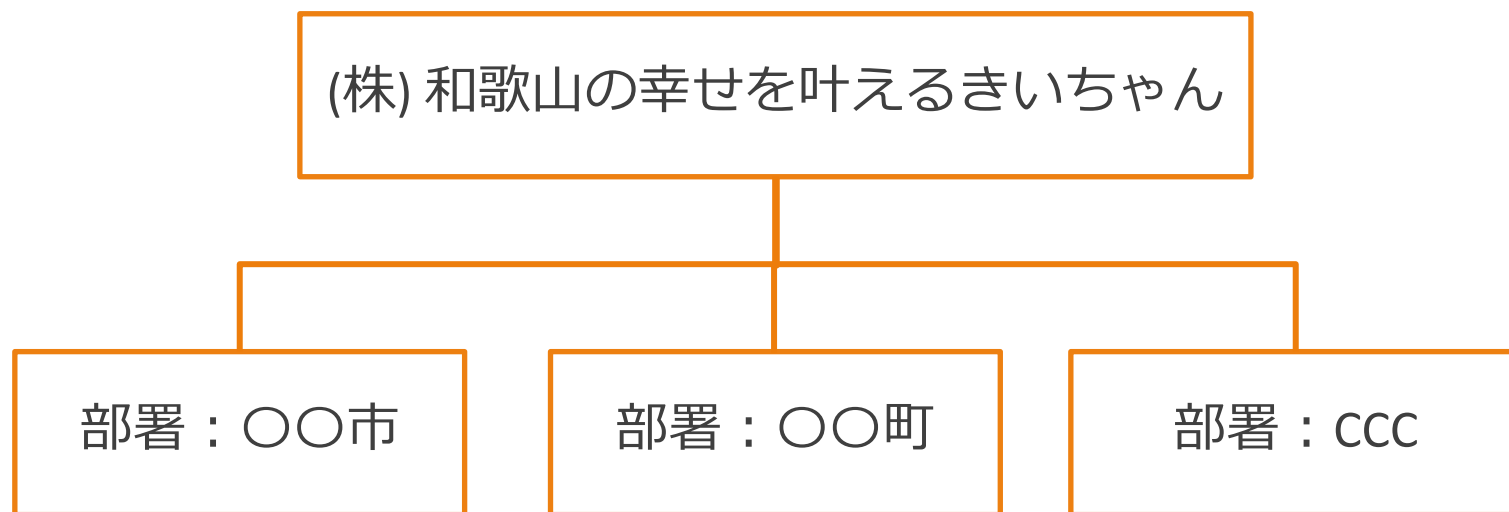


和歌山県・市町村連携で「論点思考」を鍛えるワークショップ



Step1. チームの目指す姿を決める

本日のグループのメンバーの皆さんは別々の組織に所属していますが、
1つの大きな組織の別部署にいると思ってください



Step1. チームの目指す姿を決める

お題:

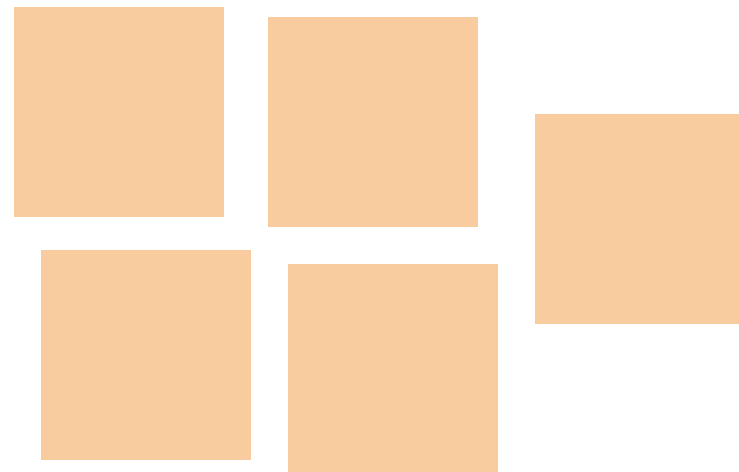
本日の事例発表や合同視察の報告を聞いて、

「うちの部署でもできたらいいな」

「追加でこんなこともやってみたいな」

と思ったことを付箋紙に書き出してみてください。

(個人ワーク:3分間)

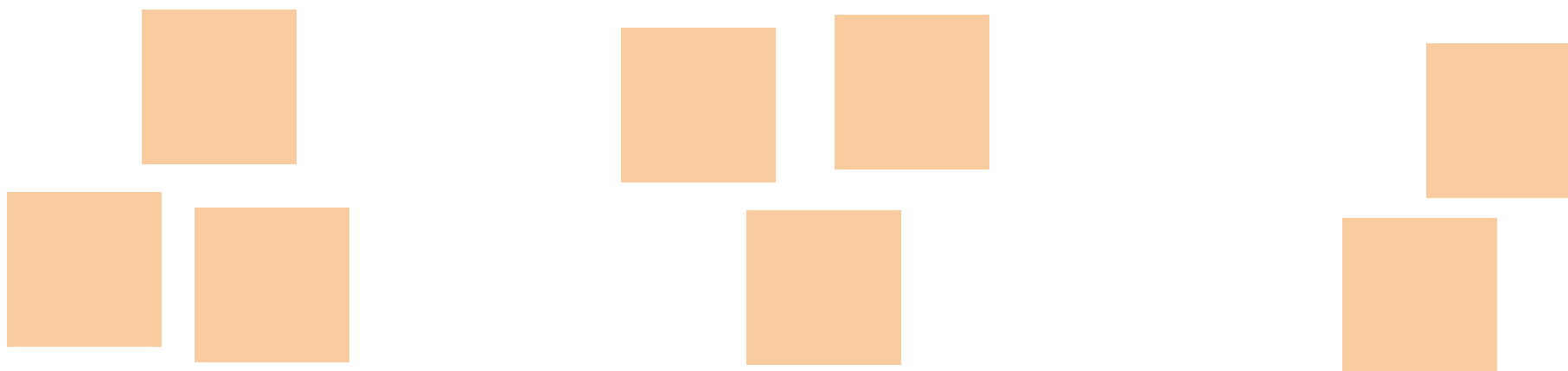


Step1. チームの目指す姿を決める

お題:書き出した付箋をグループ内で共有してください。

近い内容のもととはまとめてみましょう。

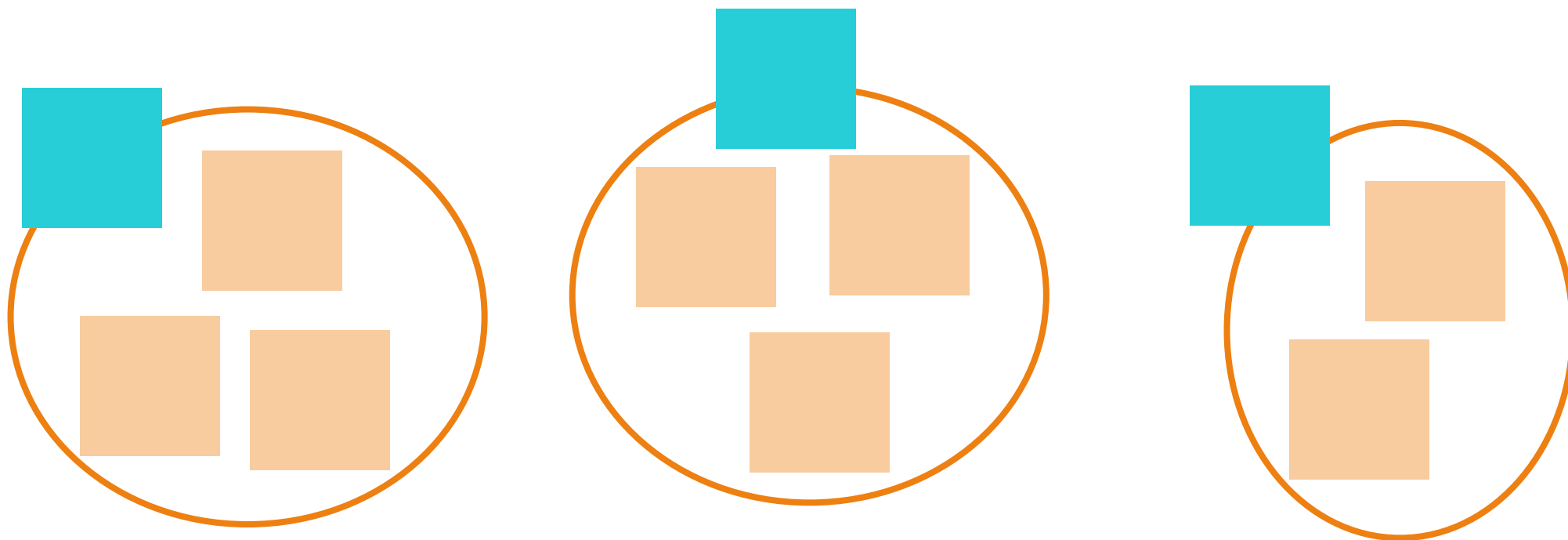
(グループワーク:12分間)



Step1. チームの目指す姿を決める

まとめたグループに、それぞれの付箋の内容を
抽象化したタイトルをつけましょう(5分間)

抽象化 = ざっくり言うと？

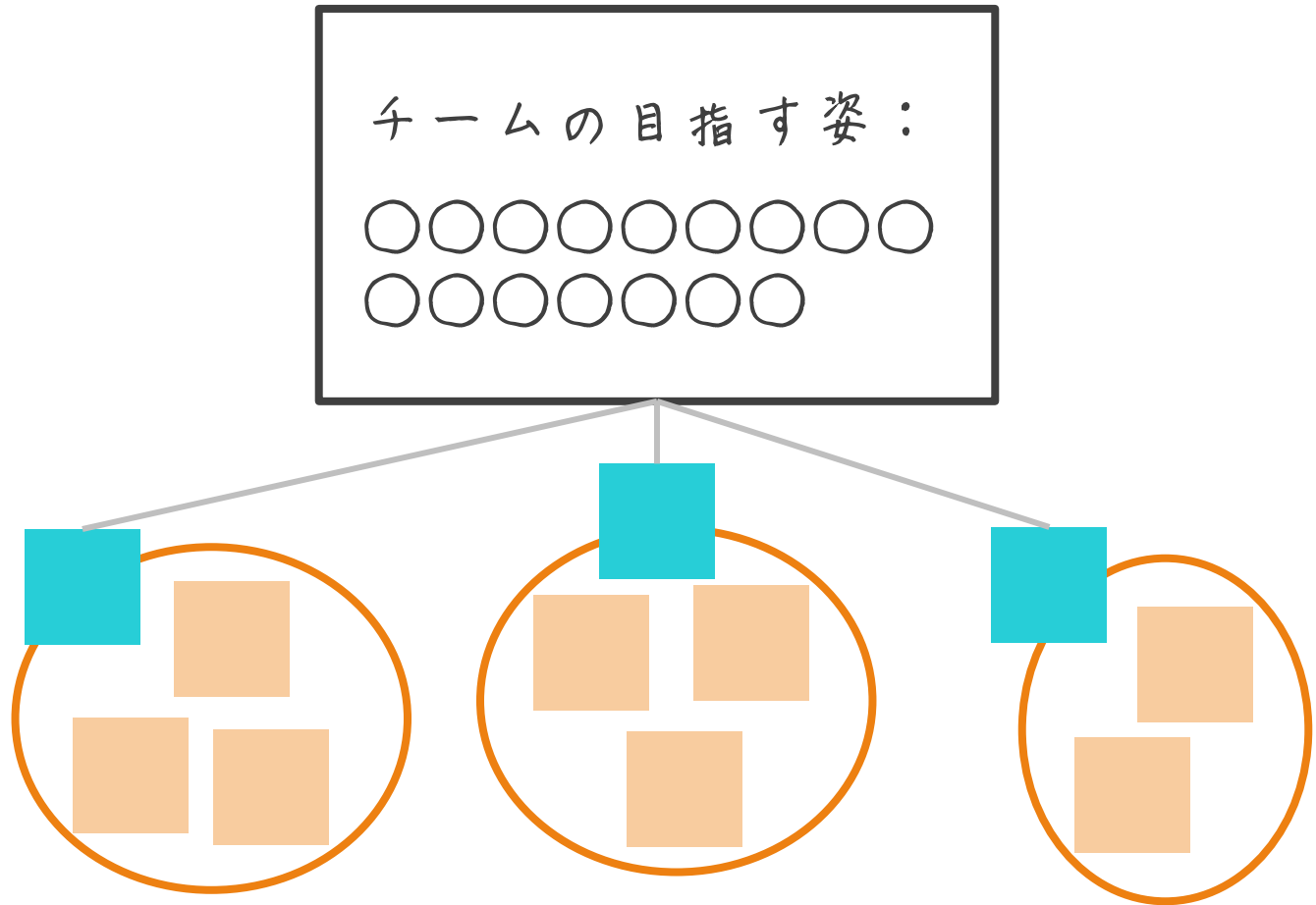


Step1. チームの目指す姿を決める

各グループのタイトル
を1つにまとめて1文で
表現してみましょう

A4用紙にまとめてくだ
さい

(グループワーク:5分
間)

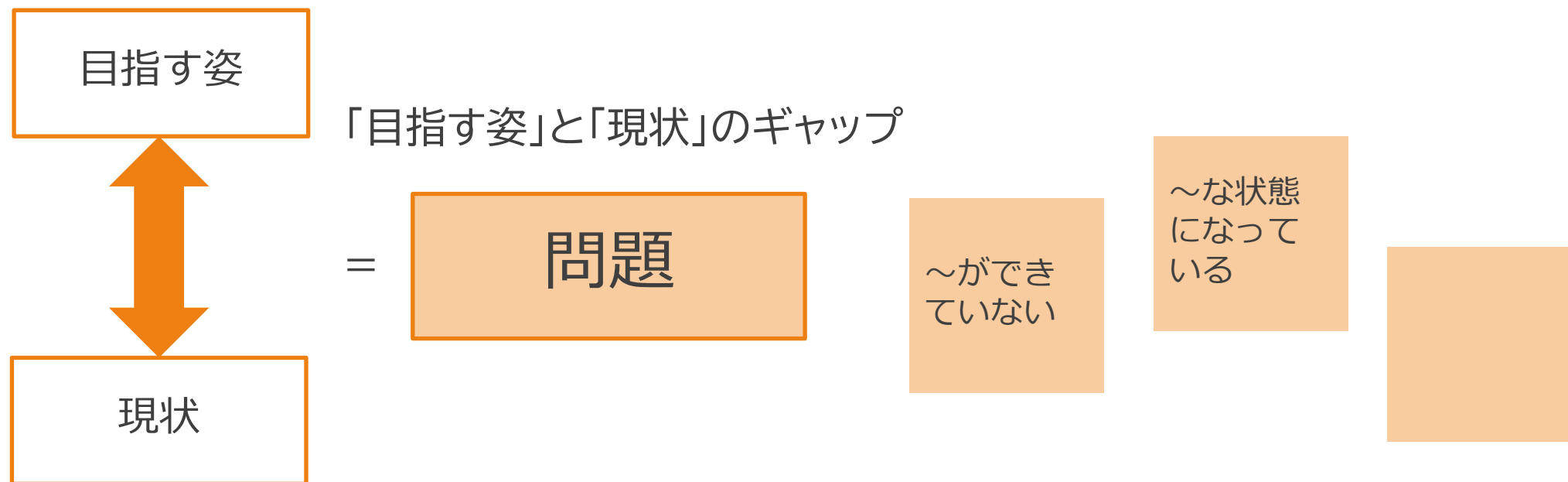


和歌山県・市町村連携で「論点思考」を鍛えるワークショップ

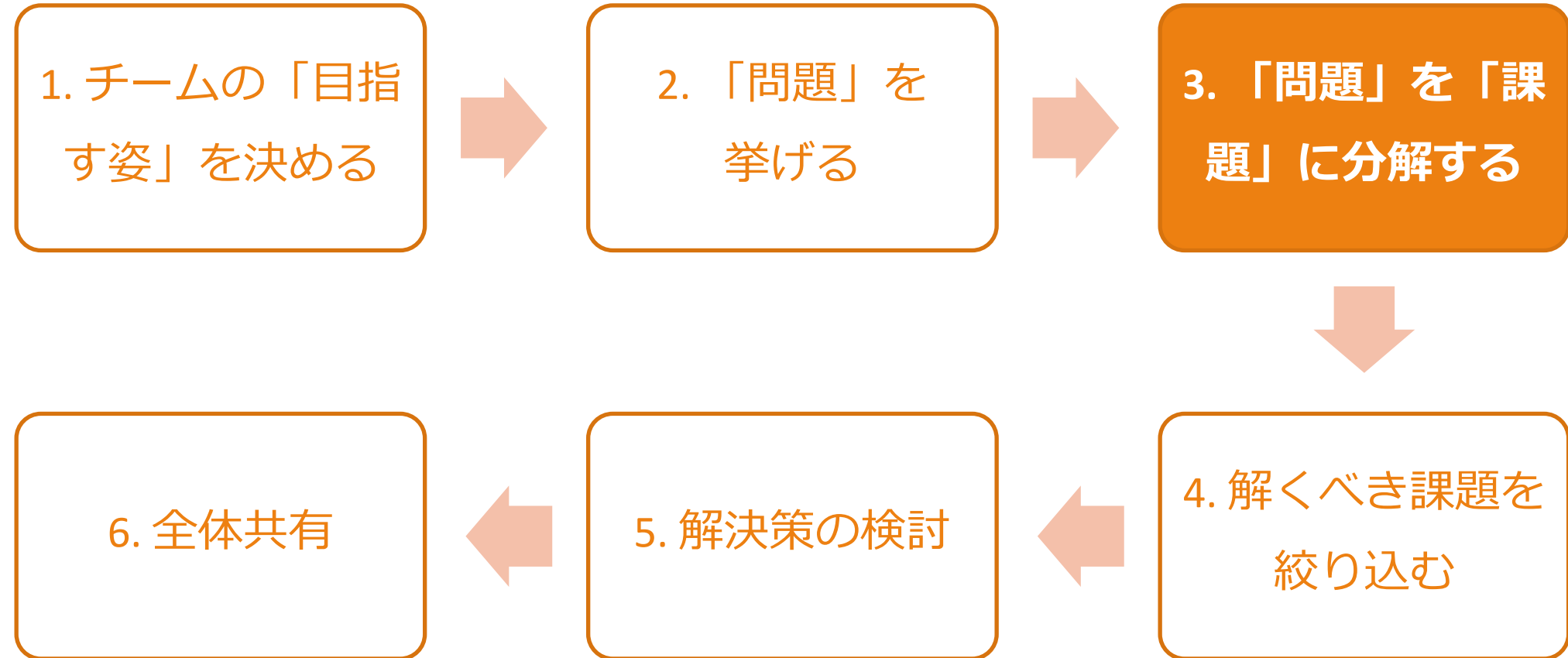


Step2. 「問題」を挙げる

目指す姿を実現するにあたりどんな「問題」があるか、付箋で挙げてみてください。
(グループワーク:10分間)

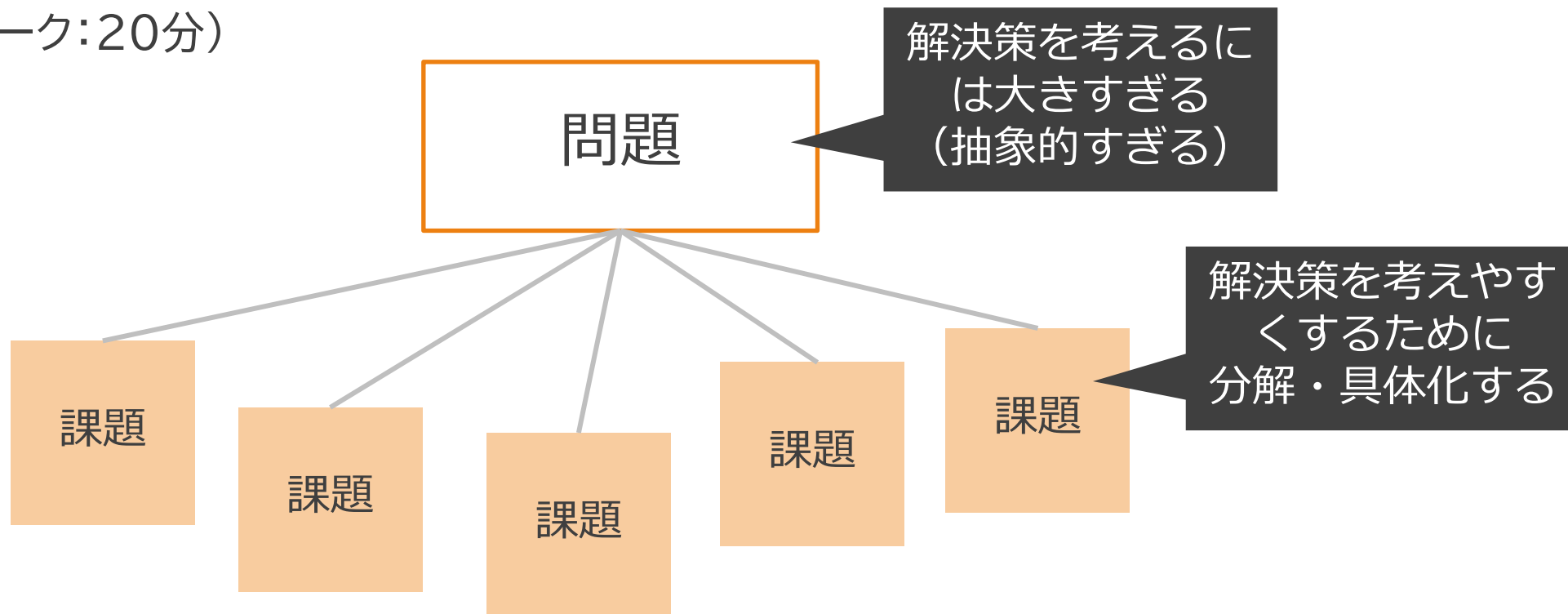


和歌山県・市町村連携で「論点思考」を鍛えるワークショップ

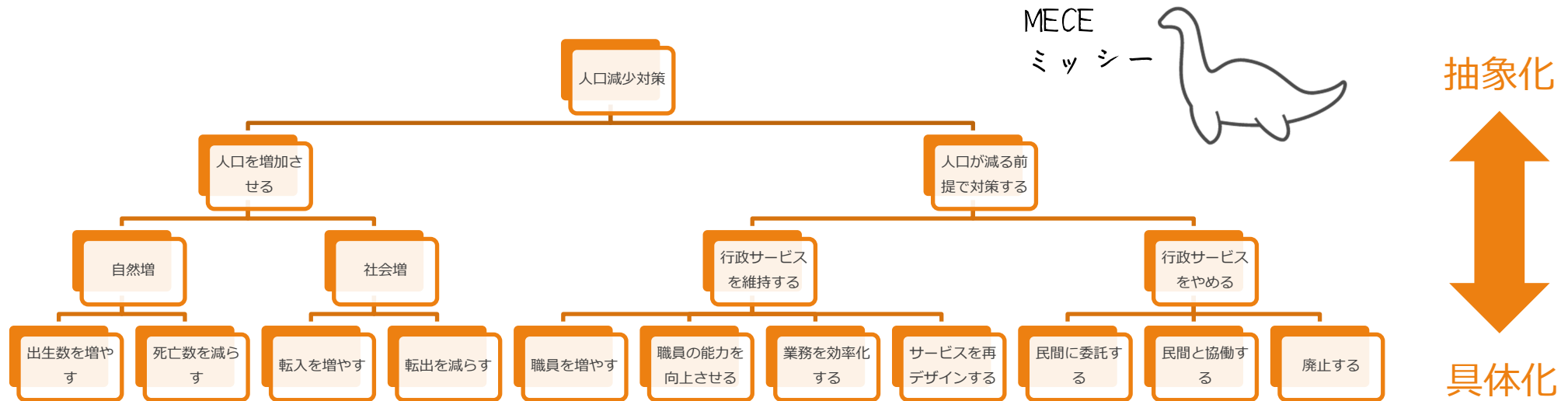


Step3. 「問題」を「課題」に分解する

「問題」を要素分解して「課題」として整理してみましょう
(グループワーク:20分)



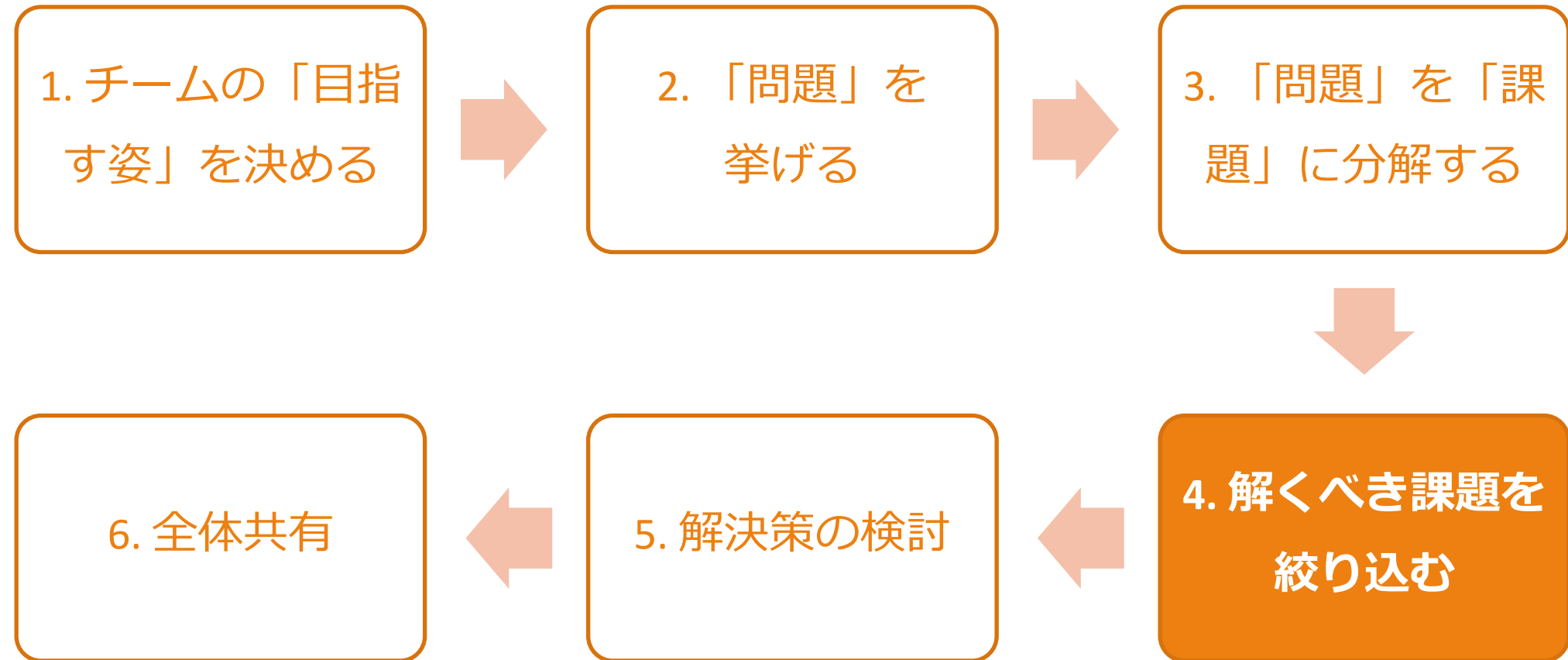
Step3. 「問題」を「課題」に分解する



※最初はツリー構造にしなくても大丈夫です。

まずは粒度を気にせずに一定数挙げてから整理してみてください。

和歌山県・市町村連携で「論点思考」を鍛えるワークショップ

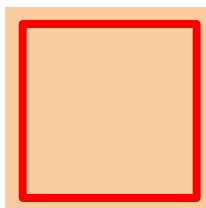


Step4. 解くべき課題を絞り込む

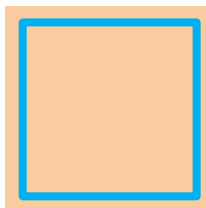
課題を分類してみましょう

該当する付箋を以下の色のペンで線を引いて囲っててください

(グループワーク:10分間)

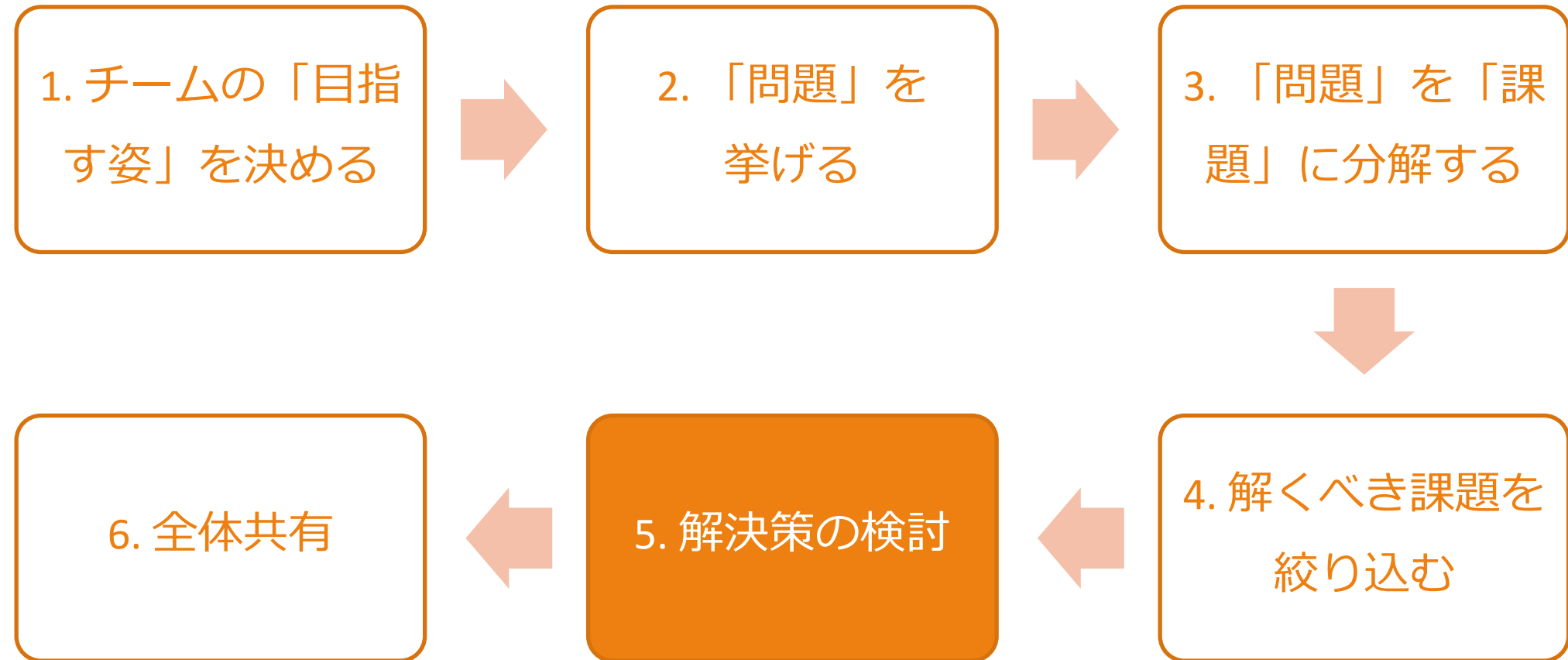


赤…重要性の高い課題(これを解決しないと他が解決できない、解決すると他の課題も解決する可能性がある等)



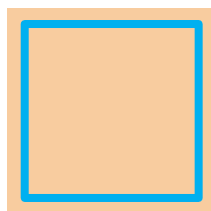
青…県・市町村連携で解決できる可能性がある課題

和歌山県・市町村連携で「論点思考」を鍛えるワークショップ



Step5. 解決策の検討

今回は青で囲った付箋の課題の解決方法を検討しましょう(グループワーク:15分間)



青…県・市町村連携
で解決できる可能性
がある課題

A4用紙に
書いてください

アイデアのタイトル:

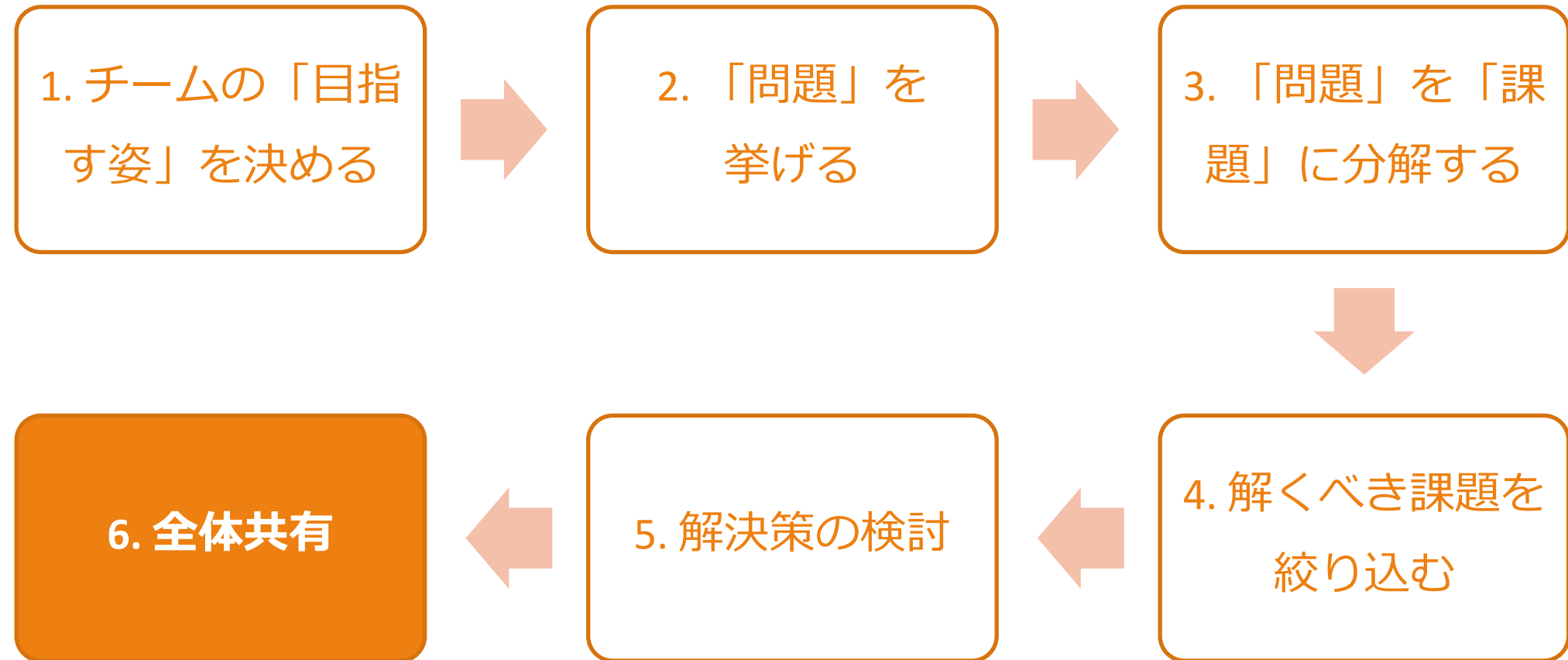
○○○○○○○○○○○○○○○○

アイデアの内容

- ○○○○○○
- ○○○○○○
- ○○○○○○

イメージ
や図など

和歌山県・市町村連携で「論点思考」を鍛えるワークショップ



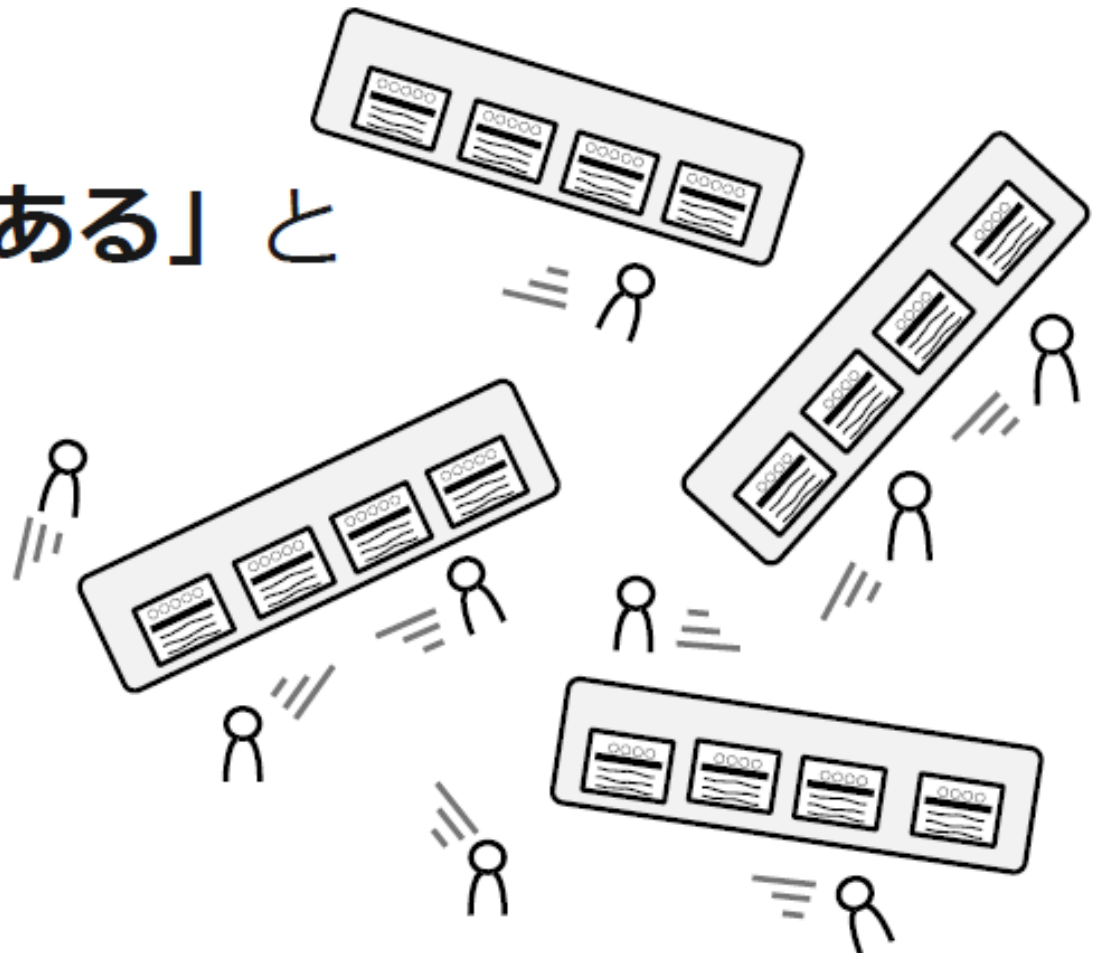
ハイライト法

テーブルを回る。☆を付ける。

- ・「面白い」又は
- ・「広がる可能性がある」と
感じるものに。

☆いくつでもOK

自分のスケッチにも
客観的に見て付ける



アイディア発表

- 星が多く付いた順に5位まで、アイディアを発表頂きます
- 2分ほどでご説明をお願いいたします



Top5